

上下水道部
だより

伊勢の水

NO.4
令和6年8月発行



上下水道部では、市民の皆さんの生活に欠かせない水道・下水道についてよく知っていただくために上下水道事業からのお知らせや現状、課題、経営状況などをシリーズでお伝えしています。今回は、令和6年度に行っている事業や、伊勢市水道事業ビジョンなどについてお知らせします。



能登半島での応急給水活動

能登半島に職員を派遣しました

令和6年能登半島地震により被災地では、水道や下水道が使用できない地域が数多く発生しました。伊勢市では、震災発生翌日から職員を派遣し、給水車による応急給水活動を行いました。

下水道においては、管路調査に職員を派遣し、さらに4月から下水道災害復旧工事のため、担当職員を富山県水見市へ派遣しています。

伊勢市では、災害派遣の経験を基に、応急復旧や応急給水の迅速化を検討するとともに、耐震化等の施設整備更新を進めています。

濁り水の発生による水道料金などの減免について

6月26日に岡本3丁目地内で発生した水道管の漏水に伴う緊急修繕工事の影響により、水道水の濁りが市内の広範囲に及ぶこととなり、当該地域の皆様に多大なご迷惑、ご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

濁り水でご迷惑をおかけしましたご家庭や事業所の皆様には、濁り水解消のために放水された水道水にかかる水道料金・下水道使用料について、減免させていただきます。

【お問合せ】 料金課 ☎(0596-42-1502) FAX (0596-42-1543)
窓口 (二見総合支所2階・市役所本館1階上下水道窓口)

詳しくは、ホームページをご覧くださいようお願いいたします。



令和6年度

水道事業会計予算

収益的
収支

水道水をお届けするための
収支(税抜)

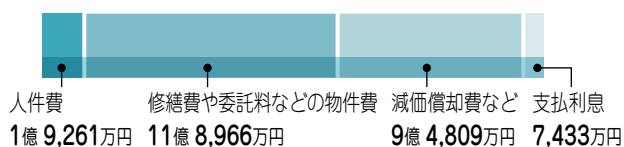
収入 24億 9,862万円



利用者からの水道料金 21億 5,719万円

加入金や繰入金など 3億 4,143万円

支出 24億 469万円



人件費 1億 9,261万円

修繕費や委託料などの物件費 11億 8,966万円

減価償却費など 9億 4,809万円

支払利息 7,433万円

資本的
収支

施設をつくるための
収支(税込)

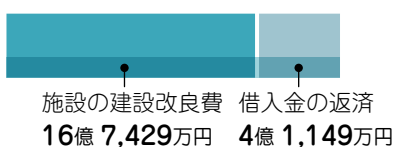
収入 7億 9,534万円



借入金 5億 4,600万円

負担金など 2億 4,934万円

支出 20億 8,578万円



施設の建設改良費 16億 7,429万円

借入金の返済 4億 1,149万円

※収支不足額は、減価償却費や前年度の純利益を積み立てた積立金などの内部に留保された資金で補てんします。



水道管路、施設の耐震化

水道施設の耐震化を推進。

- 病院等災害時重要給水施設への給水ルートの耐震化(1,830m)
- 横輪加圧ポンプ場(受水槽)耐震補強工事等

持続

●老朽管(古くなった水道管)の更新や漏水箇所の修繕

安全

●『水質基準51項目』や『PFOS・PFOA等の水質検査』による安全確認

強靱

●災害対策として水道管や施設の耐震化



横輪加圧ポンプ場

令和6年度

下水道事業会計予算

収益的
収支

汚水処理や雨水排除を
行うための収支(税抜)

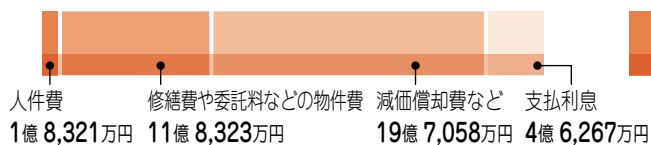
収入 38億 728万円



利用者からの下水道使用料 10億 8,020万円

繰入金など 27億 2,708万円

支出 37億 9,969万円



人件費 1億 8,321万円

修繕費や委託料などの物件費 11億 8,323万円

減価償却費など 19億 7,058万円

支払利息 4億 6,267万円

資本的
収支

施設をつくるための
収支(税込)

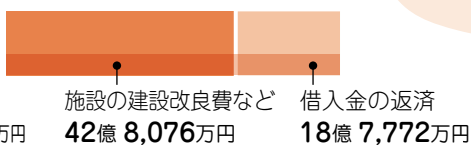
収入 45億 3,101万円



借入金 28億 1,610万円

補助金など 17億 1,491万円

支出 61億 5,848万円



施設の建設改良費など 42億 8,076万円

借入金の返済 18億 7,772万円

※収支不足額は、減価償却費や前年度の純利益を積み立てた積立金などの内部に留保された資金で補てんします。



勢田川流域の浸水対策

勢田川流域等浸水対策実行計画に基づき排水路を整備。

- 桧尻2号雨水幹線排水路築造工事(150m)

持続

●台風等の大雨による浸水被害を少なくするための排水路整備や雨水ポンプ場の能力向上

安全

●古くなった雨水・汚水ポンプ場設備の更新

安全

●雨水ポンプ場が大雨時にも機能する対策

安全

●マンホールが地震時に浮上しない対策

快適

●生活排水を流す下水道管(汚水)の道路への埋設



令和6年度 庁舎建設事業 6億2,968万円

上下水道部庁舎の建設

災害時にライフラインの復旧拠点となる庁舎の整備。

- 上下水道部庁舎建設工事等



完成イメージ図

「伊勢市水道事業ビジョン」を見直しました

市では、平成 31 年に「伊勢市水道事業ビジョン」を策定し、【持続】【安全】【強靱】の 3 つの観点から、10 年後の各目標を達成するための具体的方策を設定し、取り組んできました。

水道事業では、人口減少等による水需要の減少や施設の老朽化により事業経営の厳しさが増す中、大規模地震の発生や断水リスク等への対応が求められています。

これらのことから、令和 5 年度に、これまでの評価を行い課題や施策の見直しを行いましたので、主な概要をご紹介します。

伊勢市水道事業
ビジョンについて
くわしくはこちらから



持 続

健全で持続可能な
水道経営



老朽管の更新

市内には老朽管が多数存在し、漏水事故などの懸念があることから老朽管更新を積極的に行います。

水道施設の点検と 維持・修繕体制の強化

国のガイドラインに基づき、水道施設の点検や適正な維持・修繕を行います。

広報活動の充実

水道事業をよりよく知っていただき、身近に感じてもらえるように、ホームページや上下水道だよりの充実、各種イベント等への参加を継続して行います。

安 全

安全で安心できる
水道水の供給



【水質検査状況】

水質管理体制の強化

市では自己水源が約 7 割を占め、残りの約 3 割は三重県より受水しています。自己水源については原水及び給水栓末端部の水質検査を、三重県からの受水については、水質情報を共有し、継続的な水質管理をそれぞれ徹底していきます。また、水質検査結果はホームページで公表していきます。

PFOS及びPFOA 等対策

PFOS 及び PFOA 等については、国における対応を注視しながら情報収集に努めるとともに、定期的に水質検査を実施し、継続した管理を徹底することで安全な水道水の供給に努めます。

強 靱

災害に強いしなやかな
水道の構築



【配水本管布設替工事】

水道施設の耐震化

基幹施設については引き続き耐震診断を実施し、耐震性がないと確認された施設は、耐震化（補強、更新）を進めていきます。

災害時重要給水施設管路 の耐震化

災害時重要給水施設（災害対策本部、基幹病院、避難所等）への配水管について、優先的に耐震化を進めていきます。

水道施設の耐水化・土砂 災害対策

浸水被害が予想される水道施設において、耐水化対策を行います。また、土砂災害警戒区域等に存在する水道施設において、土砂災害対策を行います。

応急復旧・給水体制の構築

災害リスクの少ない小俣浄化センター跡地に新たに上下水道部庁舎を建設し、通常業務のほか非常時における応急対策の充実を図ります。



伊勢市の水道料金あれこれ



水道料金はどんなことに使われているの？

水道を使用していくには、維持管理するための経費や、災害に備えて古い施設の更新や耐震化の工事が必要になるんだよ。水道料金はその資金になるんだよ。

いろんな物価が高くなっているけど水道料金の設定は今のままで大丈夫なの？

今の状況が続くと、水道事業は近い将来、赤字に転落してしまって資金もなくなってしまうだろうね。

水道料金の設定がそのままだとどうなるの？

水道料金は貴重な財源なんだ。資金がなくなると施設の更新や耐震化ができなくなり、皆さんに安心して水道水を届けることができなくなってしまうんだよ。

足りない資金は何かで補って水道料金を安く抑えることはできないの？

水道事業の経営に必要な経費は水道料金でまかなうという「独立採算の原則」があるんだよ。使った人が使った分だけ負担するという考え方に基づいて健全経営を行う必要があるんだよ。

じゃあ水道料金は上がるの？

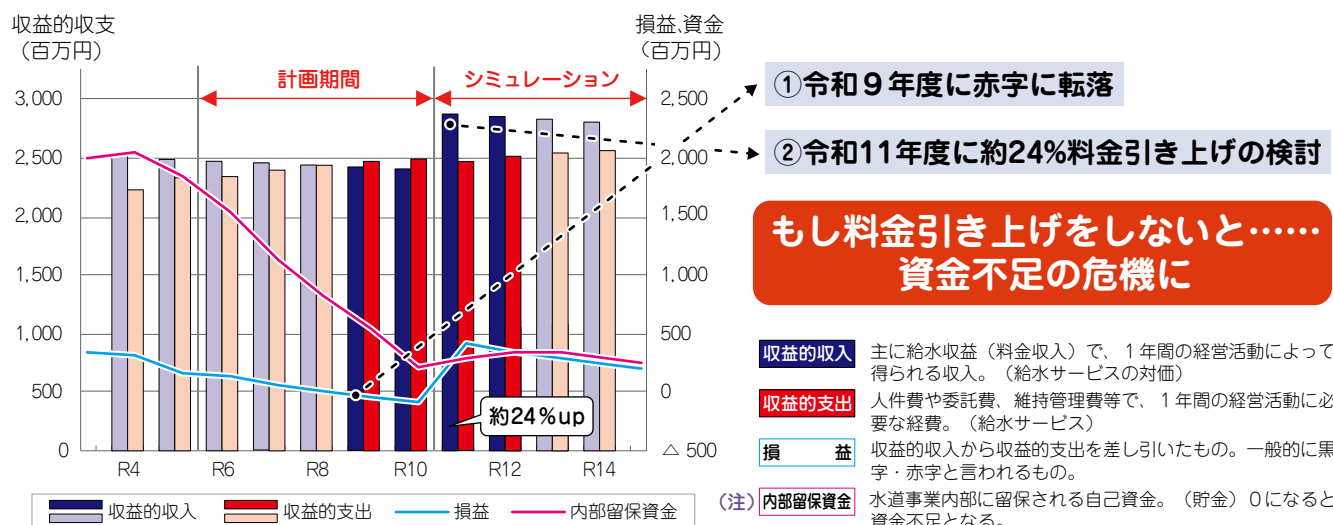
シミュレーションでは、令和11年度以降に水道料金の引上げが必要という見通しとなったよ。今後、定期的に試算して、経営を分析しながら時期などを検討していく必要があるんだよ。



水道事業の経営の見通し

水道事業ビジョンに沿って施設更新や耐震化などを推進し、安定した事業経営を行うため、経営の見通しを試算しました。収入では、人口減少等により給水収益が減少し、支出では、物価高騰等により維持管理費が増加すると想定した結果、**令和9年度から純損失（赤字）が発生し、また、令和11年度からは内部留保資金（注）がマイナスとなる見込み**となりました。

そのため、令和11年度以降、純利益の維持と内部留保資金を毎年度2億円確保するなどの条件でシミュレーションを行った結果、**令和11年度以降に料金収入の増収（約24%UP）が必要**という見通しとなりました。今後、経費削減に努めるとともに、定期的にシミュレーションを行い、経営状況を分析しながらその時期等を具体的に検討する必要があります。



ご意見・問い合わせ先

伊勢市上下水道部 上下水道総務課 庶務係 〒519-0696 伊勢市二見町茶屋 420-1
☎0596-42-1504 [FAX] 0596-42-1540 ✉sui-soumu@city.ise.mie.jp